

### 第三回大河原地区地域づくり懇談会の意見概要

#### ●地域の課題について

- ・仙南地域としては工場誘致が必ずしも進まないため、蔵王山麓を活用し、巨理・山元地区といった地域間の連携も視野に入れ、観光を中心とした交流人口の拡大による地域活性化が望まれる。この点から考えると生活基盤のネットワークの中に道路網だけでなく新幹線駅などを取り込んで検討してはどうか。
- ・生活基盤の面で、国道4号に白石川を中心とした「川の駅」、巨理・山元地区に「海の駅」といった地元の農産物を扱うアンテナショップ的な道の駅のようなものを検討してはどうか。
- ・生活道路はあくまで人を優先し、必ずしも道路構造令といった基準どおりに整備する必要はないのではないか。
- ・時間雨量強度が強いのであれば、確率年を現在の豪雨状況に合わせて高めに設定した河川改修を実施すべきではないか。
- ・仙南地域は蔵王国定公園を抱え、観光面での魅力的なものを新たにつくるなどでの活性化が重要ではないだろうか。このため、観光拠点を結びつける道路ネットワーク回遊コースの構築も必要ではないか。
- ・引き続き、道路ネットワークの整備を進めてほしい。
- ・土砂災害危険箇所は箇所が多いが、危険度の高いところから順次対策を進めてほしい。
- ・大河原町に一目千本桜のような観光スポットがあるが、点での取り組みでは地域活性化は難しい、点と点を結ぶ道路ネットワークの整備が望まれる。
- ・交流人口の拡大のために地域と地域を結ぶ幹線道路網の整備が望まれる。
- ・災害時には子供や老人、ハンディキャップを持った弱者が一番犠牲になるので、弱い立場に配慮した地域づくりを考えてほしい。
- ・大雨が降ると河川に流木が流れ着き、長時間流木が放置されていたり、河床が低下し、護岸の基礎が洗掘されたりしている。小さな被害の放置が大きな災害に結びつくので日頃の巡視や災害時の対応を充実してほしい。
- ・豪雪時に安全に通行できる道路整備を考えてほしい。
- ・常磐自動車道へのアクセス道路を是非整備してほしい。
- ・以前は豪雨時に河川が氾濫していたが、河川改修も順調に進んできた。引き続き、改修を進めてほしい。
- ・地域の要望に応じた歩道整備も進んできたので、これからも要望に応じて整備を進めてほしい。

●地域の取り組みについて

- ・ 経済活動を高めていくためにも高速道路 I C までのアクセス道路を整備してほしい。
- ・ 山形・宮城圏域といった視点で考え、各種の施策を実施することによりどのような成果が期待されるといった形で地域の課題などを説明してもらえると理解が早いのではないか。
- ・ (一) 半田山下線枝野バイパスの道路整備に期待している。
- ・ 宮城県沖地震のみならず、東北地方の予測される地震への対応を検討してほしい。
- ・ 事故が発生している箇所の歩道整備が計画に反映されているとのことなので早期に整備を進めてほしい。
- ・ 中小の建設業者の育成も建設産業振興プランの中で検討してほしい。
- ・ 小さな業者も大きな工事が受注できるよう企業体（経常 J V など）を作って参加できるようにしてほしい。
- ・ 圏域としての活性化を図るためにも、国道 1 1 3 号七ヶ宿町関地区を融雪道路にしてほしい。
- ・ 白石川上流側の支川改修と同時に、大河原の内水対策も併せて検討してほしい。
- ・ 土砂災害警戒区域の指定拡大を人命尊重の観点から急いでやってほしい。
- ・ 県財政が厳しいことは理解できるが、白幡橋の耐震調査を実施すると共に、必要に応じて耐震補強も実施してほしい。
- ・ 国道 2 8 6 号川添バイパス工事を早期に着手してほしい。
- ・ 川崎町内の中心部にある歩道整備を実施してほしい。
- ・ 土木行政推進計画に位置づけられた箇所については、見直しの際に箇所付けが落とされないように着実に実施してほしい。
- ・ 国道 2 8 6 号川添バイパス工事の早期着手に向け、土木事務所のバックアップを期待する。
- ・ 福島県や山形県と隣接していることもあり、広域的な視点での計画を検討してほしい。こうした点を踏まえて、国道 3 4 9 号の整備も検討してほしい。